

平成 20 年度「矢部川流域の景観資源を未来につなぐプロジェクト」

目的

矢部川は、久留米藩・柳川藩の境川として流域独自の文化や自然を育んできた。廻水路などの歴史的な施設や、寺社や祭り、固有の生物種などの「景観資源」が地域で大切に守り継がれている。それらを掘り起こし、「景観資源」を活かした持続可能な「懐かしい未来」を次の世代に残してゆくために、地域力を高め、情報発信をし、連携を広めながら、誇りを持って守り育てて行く。

1. 事業概要

矢部川流域の「景観資源」を発見・発掘し、それを流域全体で共有しながら、保全・活用するために、地域とともに、フィールドワーク・地元講座の実施を中心に、次の 3 つの事業・プロジェクトを実施する。

2. 業務内容

(1) 人とモノの発掘プロジェクト

探す・収集・リストアップ（フィールドワークの実施・3 回）

①上流域・矢部村、星野村、黒木町から 1 箇所

②中流域・八女市、筑後市、立花町から 1 箇所

③下流域・柳川市、みやま市から 1 箇所

→：景観ルールをつくる（ビューポイント、樹木の指定・管理、景観パトロール）

→：担い手を増やす（フィールドワーク参加者から）

2) 楽校（人材育成）プロジェクト

→地元講座の実施・3 回（やべがわびと、学識経験者の活用も）

①上流域・矢部村、星野村、黒木町から 1 箇所

②中流域・八女市、筑後市、立花町から 1 箇所

③下流域・柳川市、みやま市から 1 箇所

→フットパス（ゆつら一つと矢部川）の選定・3～5 箇所→地元による運営管理

①中流域・宮野公園～矢原河原グラウンドコース

②中流域・中ノ島公園～筑後広域公園コース

③中流域・辺春川コース

④下流域・二つ川～三柱神コース

⑤下流域・柳川マルショク～伝習館コース

3) 情報発信プロジェクト

→HP を立上げ運営管理→催しの案内、人・景観資源情報募集（情報書込みも）

→県・各流域市町村のHP も活用：催しの案内、情報募集の提供・取り込み。

→矢部川大使の認定→（フィールドワーク、HP 情報募集から）